

茨城大学附属中学校キャリア教育支援 —インターネットによるOB・OG職業紹介—

教育・研究

課外活動

地域交流

代表者：教育学部 4年 斎藤 美沙紀

連携先

茨城大学教育学部附属中学校のOB&OGが働く
水戸市を中心とした茨城県内の企業

顧問教員

斎藤 芳徳 (教育学部・教授)

参加者

小笠原 由香里 (教育学部 4年)
斎藤 美沙紀 (教育学部 4年)
石津 奈保子 (教育学部 3年)
栗橋 真貴 (教育学部 2年)
佐藤 庄悟 (教育学部 2年)
右島 綾香 (教育学部 2年)
石井 莉世 (教育学部 1年)
小野村 季子 (教育学部 1年)
寺門 歩美 (教育学部 1年)

プロジェクトの申請内容

●プロジェクトの概要

目的：中学生へのキャリア教育支援

目標：生徒が自分らしい働き方や働く場の発見、
進路決定などに繋げることができる職業
紹介のwebページ制作

近年、多様に変化する社会の中で「将来に希望を抱けない」「働く意味が分からない」子ども

が増えている。そんな中、子ども達が強く生きていけるように、学校教育に求められているのがキャリア教育である。

キャリア教育は学校と地域・企業が連携することが求められている。しかし、教員の負担が大きく、他の教育活動との両立が難しいのが現状である。また、多様化する職業の情報を子ども達に伝えることは難しくなっている。

本プロジェクトでは、茨城大学教育学部附属中学校（以下、附属中と省略）のOB&OGの職業紹介のwebページを作成し、中学生に閲覧してもらうことで、生徒の自分らしい働き方や働く場の発見、卒業後の進路決定など職業観・勤労観の育成に活かしてもらうことを目的としている。

活動は、3年計画での実現を目指す。

◆連携の方法・内容

水戸市を中心とした茨城県内の企業で働く附属中OB・OGに職業紹介インタビューを行う。

まず、附属中から紹介されたOBに職業インタビューを行い、そのOBから次のインタビュー先のOB・OGを紹介していただく。そのOB・OGからさらに次のOB・OGを…と、次々に紹介先を増やしながら職業数を増やしていく。

◆期待される成果

①中学校

- ・授業などで活用してもらうことで、生徒の自分らしい働き方や働く場の発見、卒業後の進路決定に生かすことができる
- ・教員のキャリア教育ツールになる

- ・家庭では、子供の将来の職業や進路に関する話のきっかけとして活用でき、両親の職業の話題にも繋げることができる

②茨城大学附属中学校OB・OG

- ・同窓会のネットワークツールになる

③茨城大学

- ・大学生と地元企業との繋がりができる

プロジェクトの実施概要

今年度は、多種に亘る職業を収集し職業インタビューの撮影を行うことと、その動画の編集作業までを行うことにする。職業紹介インタビュー撮影では家庭用カメラを使用し、動画の編集では動画編集ソフトを使って職業紹介ビデオを制作する。出来上がったものは、職業紹介ビデオとしてハードディスクにまとめ附属中にお渡しする。

目安として、月に10種類の職業を収集する。職業紹介インタビューでは、中学生が仕事をビジュアルに仕事を理解できるように「仕事風景」の撮影も行う。

●職業紹介インタビューについて

閲覧対象者：

茨城大学教育学部附属中学生

インタビュー対象者：

茨城大学教育学部附属中学校OB・OG

(茨城県内の企業に勤務する人)

撮影場所：OB・OGが働く企業

撮影時間：2時間程度（ビデオは15分）

撮影内容：職業インタビュー、

仕事風景の撮影

紹介：取材時に次の人を紹介してもらう



職業紹介インタビュー



仕事風景撮影

プロジェクトの成果報告

●収集済み職業一覧

アウトドア用品店経営、アナウンサー（キャスター）、医師、医療機器販売業、紙卸流通業、ギャラリーオーナー、教育委員会職員、行政書士、車の法人営業（ディーラー）、建設業、県庁職員、クラシックバレエ教師、高校の校長先生、国会議員、小・中学校教員、新聞記者、住職、塾講師、水族館飼育職員、損害保険業、清酒製造長業、農業（施設園芸）、ホテル業、薬剤師、老人ホーム施設長、百貨店マン、文化施設スタッフ、水戸市市議会議員、木材卸・小売業、ラジオディレクター、旅館業、幼稚園理事長

たくさんの方にご協力頂けたことで、34人34職種の方にインタビュー取材を行うことができました。その他、企業によっては、たくさんの従業員の方に仕事風景の撮影にご参加いただいた。

●年間スケジュール

- 8月 学生地域参画プロジェクトに参加
- 9月 インタビュー取材開始
附属中学校での会議
- 10月 動画編集開始
- 12月 附属中学校での会議
- 2月 附属中学校での会議
附属中学生に対してビデオを公開

附属中の教員と3回の会議を行い、質問内容の作成や職業紹介ビデオを授業でどのように使用できるか、また、どのようなビデオにすれば良いかのアドバイス等を頂いた。

9月からは「職業紹介のインタビュー」取材を10月からは「動画編集」を開始。2月には、附属中の生徒に職業紹介ビデオを閲覧して頂いた。

●質問内容

職業紹介インタビューでの質問内容は、附属中の教員と作成。

実際のインタビューでは、その人の「職業観・勤労観」「人生観」などが分かる質問もした。その結果、仕事をする上での本音や「なぜ大変なのにその仕事をやっているのか」「やりがいは何か」を伝えるビデオ作りに取り組むことができた。

1	氏名
2	職業名
3	現在の職業に就くきっかけとなった出来事や経緯
4	仕事内容について
5	スケジュールについて
6	仕事上で必要不可欠なもの
7	その職業特有の面白さ・やりがい
8	その職業特有の仕事で大変なこと
9	学生の時の勉強や力を入れたことが今の職業にどう活かされているか
10	その職業に就くために必要な資格
11	どのような人がその職業に向いているのか
12	職業での今後の目標
13	その職業を目指す中学生へのメッセージ
14	仕事風景（どんな場所で仕事をしているのか）

●15分動画の制作

2時間以上に亘る動画を15分にまとめる作業を行った。



プロジェクト会議の様子



職業紹介ビデオ制作の様子

●附属中会議－動画について－

15分の動画を附属中の教員に閲覧して頂き、アドバイスを受け取った。



- ・その職業に興味のない生徒にとって、15分は長い
- ・次の行動に移させるようなビデオにすべき
- ・メッセージは示すのではなく、探させる

・難しい仕事内容でも、面白ければ良い

上記のアドバイスから、5分動画を制作することにした。5分動画の方が、授業で様々な形で使用でき、生徒も飽きずに閲覧することができる。また、その職業に興味を持った生徒のために15分動画は継続して制作することになった。

●附属中学生のビデオ閲覧の様子・意見

5分動画を制作し、実際に附属中学生に閲覧して頂いた。来年度の授業に影響しない、3年生145名の生徒に職業紹介ビデオを見てもらい、最後にアンケートの記入をお願いした。

動画は面白かったか（はい・ふつう・いいえ）という質問と、フリーの感想枠、また、動画をおもしろくするにはどうすればよいかを記入して頂いた。



アンケートの結果、9割以上の生徒に面白かったもしくはふつうと回答して頂いた。

また、フリーの感想枠で「もっと詳しいビデオが見たい」「もっと時間が長いものが見たい」「他の職業紹介ビデオも見たい」といった意見が46名もいた。フリーではない質問として回答頂いたら、もっと多くの生徒からこのような意見を頂けたと推測できる。

さらに、動画をおもしろくするにはどうすればよいかという質問に対しては、「仕事風景」（本人が実際に仕事をしている風景を含む）をもっと取り入れた方がよい（35名）」「このままで良い・改善点はなし（19名）」などのアドバイスを頂いた。

●今年度得られたもの

①アンケートの結果より

身近なOB・OGの活躍を知ることで、「こんなに頑張っている人がいるんだ」「こんな大人になりたい」と感じたり、仕事と中学生時代の密接な関係を知ることによって「今から頑張ろう」と目標を与えることができた。このことから職業紹介ビデオは、目標とする理想の大人モデルを見つけることに繋がると考えられる。また、「もっと見たい・知りたい」などの意見から、次の行動に移させる動画づくりができた。

②OB・OGのネットワークツール

この活動をきっかけに、徐々にOB・OGのネットワークが広がりつつあるのを感じている。

③大学生と企業の繋がり

企業と繋がったことで、茨城大学生へのアルバイトの紹介や地域団体との交流に結び付いた。今後も活動を続けていくことで、茨城大学や学生が地域に出ていく機会を増やすことができると考えられる。

●今後の課題

①附属中からの意見による改善

来年度の授業で使用して頂けるように、3月末までに、教員・生徒からのアドバイスをもとに15分動画と5分動画の制作を行う

②webページ制作

OB・OGの方への連絡・報告ツールになるため来年度の活動として検討